

「白岡市生活排水処理基本計画（案）」に係るパブリックコメントの結果について

番号	意見	意見に対する考え方
1	<p>中川流域下水道の関連市町村では、幸手市に続いてワースト2の普及率です。諸検討の結果、合併処理浄化槽が最もコスト的に有利となるが、流域幹線が市の中心まで敷設され供用されており、中継ポンプ場まで整備されている中でその周辺地域が比較的住宅密集しているにも関わらず、公共下水道に接続されない考えは直感的に違和感があります。</p> <p>国の社会資本整備総合交付金の基幹事業である下水道事業には、たとえば、フレックスプランやクイックプロジェクトのような未普及対策への支援メニューがふんだんに用意されています。そういった「本腰を入れた」水環境対策を市政としては優先しないという理解でよいか。</p> <p>合わせて合併処理浄化槽の維持管理費と下水道使用料の比較検討結果についても教えてください。</p>	<p>市が進める生活排水処理基本計画では、目標年次を平成37年度に定めて、経済的、且つ効率的に生活排水処理できる整備手法を選定しておりました。将来人口のシミュレーションと合わせて、施設の設置に係る事業費、維持管理費、更には、施設の耐用年数など総合的に判断して、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の3つの手法で振り分けております。</p> <p>ご指摘いただきました合併処理浄化槽の地域につきましても、総合的に判断した結果となっており、選定した合併処理浄化槽は国が掲げる水環境対策を推進するものであります。</p> <p>市といたしましては、排水に係る計画を新たに定める際には、ご提案いただきました、方法も含めた検討をしてみたいと考えておりますのでご理解いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>また、合併処理浄化槽維持管理費と下水道使用料の比較については以下のとおりとなりますが、各々の規模や使用状況により、異なりますので参考として掲載いたします。</p> <p>(1) 合併処理浄化槽 人槽等の条件によって前後いたしますが、保守点検や清掃、法定検査など、5人槽で年間40,000円前後の維持管理費用が必要となります。</p> <p>(2) 下水道使用料 平成26年度の1世帯当りの1ヶ月使用水量の平均は21.3m<sup>3</sup>となっておりまして、算出いたしますと年間約26,000</p>

		0円が下水道使用料として必要となります。
--	--	----------------------